

# 県本部通信

# 9

2019 September  
No.209

Monthly Zen-noh Gunma

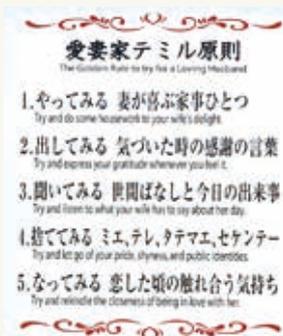


## Contents

事業のうごき	2
インフォメーション	3～5
農業チャレンジャー	6
JAピックアップ!	7
アートクッキング	裏表紙
花木流通センター便り	裏表紙

## 愛妻の丘 吾妻郡嬬恋村

農家の畑を借りて始まった小さな催しで、男性たちが真剣に愛を叫ぶ姿がだんだんと評判になり、叫びの丘が整備されました。そこを嬬恋村の人たちが「愛妻の丘」と名付けたといわれています。今ではドライブの名所で、一面のキャベツ畑から繋がる浅間山の雄大な景色を眺めたり、右の写真のような看板やかわいいオブジェを見たりしても楽しめます。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を**  
**安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

# 事業のうごき

## JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践と目標達成に向けた取組支援
- 担い手の経営強化のための経営管理支援
- JA営農経済部門の人材育成支援
- TAC活動等JAのアウトク体制強化支援
- 大規模経営農家・法人等の経営安定化支援
- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- 園芸作物生産実証農場の運営

## 畜産農産部

### ▶酪農畜産課

- 生乳計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場の和牛及び乳用牛の集荷・販売推進

### ▶米麦特産課

- 平成30年産民間流通麦引取推進
- 令和元年産民間流通麦引取推進
- 令和2年産民間流通麦播種前契約推進
- 「麦とる麺」特別推進 (7月～9月)
- こんにやく生玉取扱推進
- こんにやく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)
- 群馬県産トマトジュース推進 (9月～10月)

## 園芸部

### ▶園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計にがり販売 (9月末日迄)
- 共計オクラ販売 (9月末日迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 県統一規格共計露地なす販売 (11月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12月末日迄)

### ▶販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

### ▶園芸資材課

- ネポン暖房機推進 (第2期・7～9月)
- 青果物予冷库推進(パナソニック)
- 秋用出荷資材予約推進
- 秋まき用種子推進(ほうれん草・ねぎ・きゅうり他)

## 生産資材部

### ▶花木流通センター

- 秋彼岸大園芸祭り 9月20日(金)～23日(月)

### ▶肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 麦肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

### ▶施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

## 生活部

### ▶生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)

### ▶葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進

### ▶石油課

- 秋期オイルキャンペーン (9月～11月)

### ▶ガス課

- ガス器具推進 (4月～12月)
- 保安キャンペーン (7月～9月)
- 給湯器燃料転換促進 (7月～2月)

## 「道の駅上野」 グランドオープン記念式典



県内第1号の道の駅として平成6年に登録された「道の駅上野」は、施設の老朽化と求められる役割の多様化・高度化に対応するため、機能の充実と周辺施設を含めた再整備が進められていました。隣接する上野村給油所の再整備については、当県本部一級建築士事務所が設計監理を担当し、昨年9月に完成しました。災害時に備えた地域におけるエネルギー供給拠点として、停電時も発電機による給油が可能となっています。

「道の駅上野」は、7月26日(金)に全面オープンし、グランドオープン記念式典が開催され、再整備に携わった関係者らが出席し完成を祝いました。

## JA利根沼田産野菜フェア



7月27日(土)、JA利根沼田は千葉青果(株)と協力し、千葉県内のマルエツ稲毛店・大久保駅前店・東習志野店の3店舗でJA利根沼田産野菜フェアを開催しました。

「尾瀬トマト」を中心に「大根」や「とうもろこし」、「ミネラル栽培枝豆の豆王」、「高原レタス」を店頭に並び、JA利根沼田の担当者や当県本部職員が売場に立ち、各店舗でPRを行いました。尾瀬トマトはカットして提供し、試食されたお客様からは、「みずみずしくて、おいしい!」と好評でした。消費者に直接JA利根沼田産野菜の魅力を伝えることで、消費拡大が図られました。



# 低塩<sup>※1</sup>タイプ 群馬県産オリジナル トマトジュース

パスタやスープ、リゾット  
などのお料理の材料  
としても便利です。

**限定  
製造**

1ケース・30缶入  
(190g×6本×5)



群馬県産完熟トマトを  
旬にしぼったストレートの  
トマトジュースです。

お問合せ・ご注文先

ご注文は、お近くのJA またはJA全農ぐんまへ  
**JA全農ぐんま 米麦特産課**  
**Tel 027-220-2251**

※1.「低塩」は、厚生労働省・栄養表示基準により、ナトリウムが120mg/100ml以下と定義されています。(本品は83mg/100ml)

※この夏に収穫された、完熟トマトを使用しています。トマトの生育・収穫状況によっては納品時期が遅れる可能性がございますので、なにとぞご理解のほどお願い致します。

## ハウスナス切り戻し剪定実演会



7月29日(月)、JA群馬担い手サポートセンターは園芸作物生産実証農場でハウスナス切り戻し剪定実演会を開催し、JA担当者、群馬県他約50人が参加しました。農場やメーカーの担当者が半促成ナス長期どり栽培やハウスナス栽培品種について説明し、切り戻しの剪定位置などを実演して見せ、実際に参加者が剪定作業を行いました。この実演会を通じて、営農技術の向上と更なるナスの生産振興を図ります。

剪定したのは、ハウス2棟の「式部」、「黒福」、「あのみり2号」と「ラクロ」の計360本。暑さの本番を迎えるこのタイミングで切り戻し、灌水と追肥などの管理を行い、1ヶ月もすると再び葉を茂らせ、良質な秋ナスを实らせませす。

担い手サポートセンター生産振興課の山上課長は「ナスは県内で拡大している品目であり実演を通じて益々の振興をはかってもらいたい」と話しました。



▲ 切り戻し前



▲ 切り戻し後

## 群馬県麦民間流通地方連絡協議会



7月31日(水)、群馬県麦民間流通地方連絡協議会が開催され、県内JA担当者・県内外実需者・行政関係者等約50人が出席しました。当日は令和元年産の作柄や品質、改善点等についての情報が共有されたほか、令和2年産麦のアローワンス(契約数量に対する受渡し許容範囲)の設定や入札上場比率の設定等について、実需者側と生産者側で活発な意見交換が行われました。実需者からは県産麦に対する一定の評価を頂くとともに安定生産・安定供給に対する強い要望が寄せられました。

## 「やまと芋」主産県合同試食宣伝会



8月3日(土)、東京青果卸売場で「やまと芋」主産県合同試食宣伝会が行われ、販売促進課と園芸販売課の担当者が群馬県産の「やまと芋」をPRしました。埼玉県・千葉県・群馬県の主産3県で「やまと芋」の食べ比べができる催しは2年目。各県ごとに粘りの違い、風味の違いなどの特徴を知ってもらい、お客様にニーズに合ったものを選んでもらうことで、「やまと芋」全体の販売拡大に繋がります。各県の特徴を活かしたメニューを用意し、本県からはJAにっただみどりJA

佐波伊勢崎のやまと芋を「とろろ」で試食提供しました。試食した市場関係者からは「このとろろはすごい粘りだね」との感想をいただき、それぞれの味や食感の違いを確かめていました。

## トレサビ研究会



8月5日(月)、JA群馬担い手サポートセンターはトレサビ研究会を開催し、14JAの担当者等36名が出席しました。

新たな生産履歴記帳支援システム「農業ナビゲーションシステム」は、今年度4月から運用を開始し、実際の新システムの操作で見てきた総合的な課題や今後の対応、これまでの問合せと回答の事例を説明しました。各JAの担当者からご意見をいただき、システムの円滑な運用と稼働品目拡大を図るための情報交換が行われ、情報の共有が図られました。

## 抑制キュウリ定植



8月16日(金)、園芸作物生産実証農場で抑制キュウリ苗の定植が行われました。当日は、JA群馬担い手サポートセンター職員含め約20人が参加しました。用意した品種は、「兼備2号」1,648本と「ニーナ」824本で、20aの硬質フィルム温室に合計2,472本を定植しました。今回は定植本数を増やし(10aあたり1,236本)、抑制栽培での高収量化を目指しています。収穫は、9月中下旬からの予定です。

## 「ぐんまクッキングアンバサダー」プロジェクト



### ◆ 今月の食材は… ◆

- 上州和牛
  - 群馬県産トマトジュース
- 是非、ご覧ください!



## 「新鮮ぐんま みのり館」へ行こう!

全国の農畜産物直売所を対象としたキャンペーンを新鮮ぐんまみのり館でも実施しています。こだわりのお米やお肉が抽選で当たりますので、2,000円以上購入し、レシートを貼って応募してみましよう! 詳しくは店頭にて。

こだわり  
米肉  
プレゼント!

25%OFF  
A×B  
国産新米  
250円  
B×C  
国産黒毛和牛  
250円  
E×D  
国産豚肉  
250円

JAファーマーズマーケットで  
2,000円(税込)以上買って当てよう!

応募封筒付き!

応募でしよ!

もらうなら  
応募でしよ!

地元生産  
採れたての  
一期一会

JAグループ  
サポート  
林修

10月2日は「直売所の日」  
新鮮で安全・安心な農畜産物を揃えて、お待ちしております。

JAグループ  
耕そう、大地と地域のみらい。

# 農業チャレンジャー

## 農 チャレ

安全・安心のおいしい  
孺恋高原キャベツを全国の消費者へ

JA孺恋村管内黒岩陽介さん

JA孺恋村



### Profile

黒岩 陽介 (くろいわ・ようすけ)さん

1982年生まれ 36歳  
JA孺恋村青年部 本部長を務める。  
栽培面積：キャベツ…約8ha  
趣味 スキー



2

1 収穫作業をする黒岩さん。収穫をしながら品質や規格を入念にチェックしています。  
2 朝露が付いた孺恋高原キャベツ。昼夜の寒暖差が、葉が柔らかく甘みのあるシャキシャキしたキャベツを生み出します。

— 今回の農業チャレンジャーは、夏秋キャベツ日本一を誇るJA孺恋村管内の、大笹地区でキャベツを生産する黒岩さんです。

— 今朝は何時頃から収穫作業されているのですか？

2時頃に畑に来て、キャベツを切り始めました。父と母は3時頃から箱詰めを始め、妻は家事が一段落してから作業に加わります。

— 今はどんな品種を収穫していますか？

「涼峰(すずみね)」です。玉のそろいがよく、茎もやわらかく収穫し易い品種です。(取材日：7月下旬)

— 就農のきっかけは？

キャベツ農家の長男ですので、高校を卒業して、迷うことなく就農しました。

— 就農してみていかがですか？

天候に左右されることが多いと感じます。天候を見ながら作業していますが、思い通りにいかないですね。シカやイノシシの被害もあり、効果的な対策がなく苦慮しています。

— 村内の多くの農家さんは他の地域で育苗しているそうですね。

私も松井田町や長野原町で育苗しています。生産の半分くらいは松井田町で、今期

は2月20日頃から播種を始めて、苗を育て、4月中旬から村内の畑に定植しました。

— 収穫はいつ頃からですか？

6月末から始まりました。11月の第一週頃まで出荷する予定です。

— 最盛期は、1日に何ケースくらい？

700ケースほど出荷します。

— どんな時にやりがいを感じますか？

需要が多い8玉入りの箱詰めしたものが畑にたくさん並んだ状態を見ると、上手に生産ができたなとうれしく感じます。

— 青年部ではどのような取り組みを？

勉強会や新品種の視察検討などを青年部で集まって行っています。今のところは、9月に農業の勉強会を予定しています。青年部のメンバーは殆どが同世代で話やすく、合えば立ち話でも頻繁に生産について話しています。

— 今後の目標・意気込みを教えてください。

消費者に安心して買ってもらえる安全で品質の良い孺恋高原キャベツを出荷していきたいです。

— キャベツの一大産地で青年部のリーダーとして活躍する黒岩さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

## JA佐波伊勢崎



▲ シミュレーション結果をもとに話し合う田部井さん(右)とTACの江原担当(中央)

経費はかかるが、効率化で削減できる費用・労力はないか確認しよう」「シミュレーションした理想の数字を、現実の数字と比較するのがおすすめ」などと助言しました。

田部井さんは「就農したばかりで、今後数年は設備投資や人員雇用などで大きく数字が変わる。定期的に診断を受けて、経営の数字を確認しながら目標に向かって頑張りたい」と抱負を語りました。

## 新規就農者に経営診断 JA群馬担い手サポートセンターと 連携してTACが支援

JA佐波伊勢崎は、新規就農者にJA群馬担い手サポートセンターの「簡易経営診断表」による経営診断をすすめています。決算書で簡易に診断でき、任意の数字を入力すれば経営シミュレーションもできるというもの。結果をもとに、TACは栽培管理の改善検討、規模拡大の検討、新規作物の導入提案など、より具体的かつ効果的な提案をすることができます。また、新規就農者にとっては、経営の数字を意識することで、明確に「理想の経営」をイメージする助けになるのです。

就農2年目の田部井暉さん(22)は、就農当初からJAのTAC・江原克法さんに、営農指導や補助金申請のサポートを受けています。「イチゴの観光農園経営」という夢に向け、規模拡大や人員雇用などを考えており、経営診断を行いました。江原さんは、目標売上金額の達成に向け「イチゴを規模拡大した場合」のシミュレーション結果を提示。それをもとに「規模拡大で

## アフリカ普及員へ技術伝える

JA邑楽館林は、国際協力機構(JICA)が取り組む「アフリカ地域市場志向型農業振興研修」の一環でガーナやケニア、ウガンダなど10カ国から11人の普及員を受け入れました。集荷場やトマトとキュウリのハウス、農産物直売所「ぼんぼこ」を視察し、品質管理や出荷形態の仕組みを熱心に学びました。

普及員は市場志向型農業振興の推進に必要な知識や技術を、4月から9月の約半年間をかけて日本で学び、母国の小規模な園芸農家の持続的な経営向上につなげることを目的としています。

トマトを生産する峯岸茂夫さんのハウスを訪れた普及員は、ハウス内の環境づくりに興味を示しました。アフリカでのトマトの収穫は長くて3カ月程度ということから、長期間収穫できる栽培管理や追肥についての質問が目立ちました。

ウガンダから訪れた普及員キニエラ・ジェパーソンさんは「苗木が等間隔にきれいに並んでいる。とても素晴らしい。農業は大変だけど、学んだことを生かし普及に力を入れたい」と振り返りました。

## JA邑楽館林



▲ 峯岸さんの説明を受ける普及員ら

## みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更となることがあります。

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
たまごフェスタ2019! / 群馬県養鶏協会	9月9日(月)	PM 9:00 ~ 9:30
	※9月15日(日)	AM 8:00 ~ 8:30
秋を実感! そば打ち体験・ぶどう狩り / JA北群渋川	9月16日(月)	PM 9:00 ~ 9:30
	※9月22日(日)	AM 8:00 ~ 8:30



能登 瑤子アナ

## トマトのかき氷



Food adviser **石垣 恵美**

1979年から群馬県家の光講師。  
FM局等でも活躍中。

### 材 料

2人分  
(1個分126kcal)

群馬県産トマトジュース  
..... 2缶  
レモン汁..... 小さじ2  
ハチミツ..... 大さじ1  
塩..... 少量(ひとつまみ)  
ラム酒..... 小さじ1



群馬県産  
トマトジュース使用  
詳しくは3ページ

ミニトマト..... 2個  
ミント飾り用..... 適量

### ハツミツシロップ

(ハチミツ..... 50cc  
砂糖..... 大さじ1  
水..... 100cc)

### 作り方

- 1 トマトジュースにレモン汁・ハチミツ・塩・ラム酒を入れてよく混ぜる。
- 2 1をタッパーに入れ冷凍庫で凍らせる。
- 3 ハチミツシロップを作る。耐熱ボールにハチミツ・砂糖・水を入れ、砂糖が溶けるまでレンジにかけ、冷たく冷やす。
- 4 かき氷器に2のトマト氷をセットし、かき氷を作って器に盛り、ミニトマトとミントを飾る。ハチミツシロップをかけて食べる。(シロップをかけないで食べるとサッパリとしたトマトの風味で、シロップをかけると甘いトマトのかき氷が楽しめる。)

## 花木流通センター イベント情報

開催日	フェア etc
9月20日(金)~23日(月・祝)	秋彼岸大園芸祭り
開催日	講習会 etc
9月1日(日)	秋冬野菜定植講習会(大根播種含む)
9月11日(水)	ディップ液でイチゴを作ろう(ポット付)
9月16日(月・祝)	ハーバリウムディスプレイを作ろう
9月16日(月・祝)・28日(土)	栽培講習会(ほうれん草)
9月19日(木)	寄せ植え講習会(秋の気配の寄せ植え)
9月21日(土)	食肉卸売市場 上州牛・上州豚試食販売会

- 秋野菜苗(ブロッコリー・キャベツ他)入荷中!
- 白菜苗は9月中旬入荷予定



花木流通センターでは、実りの秋ということで旬の野菜や果物を豊富に取り揃えております。

県内産のぶどうやなしをはじめ、各JAの特産品なども数多く販売し、様々な土地の様々な味を味わっていただける一番の良い時期です。

地元生産者のとれたての野菜や焼きたてのパンなど、魅力あふれるみのり館でぜひ秋をご堪能ください。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。



**KABOKU**  
花木流通センター

**みのり館**  
新鮮ぐんま

営業時間 **9:00~18:00** 6月~2月 毎週火曜日定休

- 一取扱品目一
- 園芸資材館/営農・園芸資材等□ふらわーらんど/鉢花、花苗等□JA植木コーナー/緑花木、盆栽等□エクステージ/外構・造園工事等□新鮮ぐんまみのり館/産直野菜、農畜産加工品、手作りパン・ハム・食堂等□外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



前橋市亀里町1307-1  
TEL027-220-2427 FAX027-220-2424

【県本部通信】における個人情報の取扱いについて

【県本部通信】に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

(あて先)〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで  
E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。